



気候変動って何だろう？
 ～高林中学校 気候変動出前授業～

県 気候変動適応センターは、12月8日、高林中学校の2・3年生を対象に「気候変動に関する出前授業」を開催しました。県の気候変動の影響に関する情報収集や普及啓発活動の一環として企画されたもので、100年後の日本の天気や、日常生活と気候変動の結びつきを学びました。ワークショップでは、温室効果ガス削減を進める緩和策や気候変動にどう適応していくかを熱心に話し合いました。



気分は小さな陶芸家！
 ～稲村小学校 陶芸体験～

中 止となった宿泊学習に代わる催しとして、稲村小学校の5年生86人が陶芸に挑戦。焼き物の本場・益子町で活動する益子陶芸倶楽部の皆さんから指導を受け、思い思いに工夫してお皿やマグカップを作りました。白幡和輝さんは「社会科の授業で、益子焼が県の特産品だということを知りました。実際にやってみると難しく、陶芸をしている人はすごいと思いました」と、新たな発見を笑顔で話してくれました。



大臣と懇談する東那須野中学校の生徒

おもてなしの準備は万全！
 ～橋本聖子大臣が市内を視察～

12 月13日、橋本聖子東京オリンピック・パラリンピック担当大臣がオーストリアのホストタウンである本市を訪問。同国の選手との交流などのホストタウン事業に取り組む子どもたちとの懇談や、事前キャンプ地での新型コロナウイルス感染症対策に対する視察を行いました。橋本大臣は「コロナ対策を講じた受け入れ態勢が進んでいると確信した。市と協力し、安心安全に開催できるよう全力を尽くしたい」と話していました。



1 青木小学校の生徒がオーストリア国歌を披露 **2** 同国の料理を参考に、那須拓陽高校の生徒が開発した創作レシピ。地元の食材を使っています **3** 練習場所や宿泊先のホテルを視察。今年の夏には選手たちが市内を訪れる予定です



3 **4**



馬場馬術大会で快挙！
 ～市長特別賞 贈呈～

12 月23日、「第72回全日本馬場馬術大会2020Part I【内国産馬】Mクラス馬場馬術競技」で優勝した細川映里香さんに市長特別賞を贈呈しました。贈呈式には、出場馬が所属する鍋掛牧場の沖崎代表も同席。細川さんは、渡辺市長から「コロナ禍のなか、市民の励みになる」と声をかけられると、「賞をいただけて光栄の一言。優勝できたのは、沖崎さんを始めとした、支えてくれた皆さんのおかげ」と喜びを口にしてくれました。



寒さにもコロナにも負けない！
 ～日本遺産登録記念 青木明治の森カップ～

那 須野が原の開拓の歴史が日本遺産に登録されたことを機に、平成30年から開催されているサッカー大会「青木明治の森カップ」。例年は小学5年生以下が参加対象ですが、今年はコロナ禍での活動制限で最後の大会ができなかったこともあり、6年生も大会に参加しました。市内外から合計36チームが集まり、日ごろの練習の成果を存分に発揮。グラウンドには、寒さにも負けない子どもたちの元気な声が響いていました。



宇宙の旅に思いをはせて
 ～講演会「はやぶさ2の奇跡」～

小 惑星リュウグウの岩石を採取し、地球に持ち帰った探査機「はやぶさ2」。そのプロジェクトに携わっている宇宙航空研究開発機構(JAXA)の清水幸夫さんが、12月26日、那須塩原市図書館みるで講演を行いました。清水さんは、宇宙の成り立ちや今回の調査の経緯などを説明し、実際に採取したサンプルをとらえた最新の映像を公開しました。参加者は壮大な宇宙に思いを巡らせながら、真剣な表情で話に聞き入っていました。



世代を超えて憩いの場をきれいに
 ～三区町歴史公園環境保全・維持活動～

那 須疏水や、那須野が原開拓の歴史に関係の深い那須開墾社第二農場歴史公園。この公園を地域の憩いの場として保全し、次世代へも継承したいと、NPO法人三区町地域資源・環境保全会が清掃活動に取り組んでいます。12月6日に行われた公園の落ち葉清掃には、会員のほか地元企業の従業員や西小学校の野球部員など59人が参加。野球部主将の高久未羽さんは「公園がきれいになって気持ちがいいです」と話してくれました。